

管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	さわらびセンター	評価対象年度	令和 4 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	大滝 きくみ

1 令和4年度の実績

(1)事業実績

利用実績	定員30人／日、305日開所、延べ利用人数 4,933人(前年比292人減)
サービス向上の取組	①時間延長、及び希望する送迎時間、夕食に対応した。②タオル・バスタオルの貸し出しを行い、利用者の準備負担を軽減した。③介護予防を含め、転倒予防体操・嚙下体操・口腔ケアを実施した。④研修を行い、技術や知識の向上に務めた。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考
収入	指定管理料	0	0	0	0	基本協定額: 0 千円
	利用料金	4,604	3,404	3,162	11,170	利用者食費
	事業収入	64,606	44,399	39,554	148,559	介護報酬等
	自主事業収入				0	
	その他				0	
	収入合計 ①	69,210	47,803	42,716	159,729	
支出	人件費	48,962	46,409	49,200	144,571	職員・臨時職員給料等
	福利厚生費	163	159	131	453	健康管理費等
	事務費	376	233	219	828	事務諸経費
	管理費	8,669	7,902	6,559	23,130	
	水道光熱費	4,631	4,415	3,631	12,677	電気料、上下水道料等
	修繕料	857	435	228	1,520	施設修繕
	使用料・リース料	1,636	1,402	1,195	4,233	機器リース料等
	手数料・保険料	596	565	582	1,743	賠償責任保険料等
	委託料	949	1,085	923	2,957	施設警備、清掃委託等
	事業費	5,563	4,104	3,856	13,523	介護消耗品等事業運営経費
	自主事業経費				0	
	その他				0	
支出合計 ②	63,733	58,807	59,965	182,505		
収支差額(①-②)	5,477	▲ 11,004	▲ 17,249	▲ 22,776		

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題
R3年度に入所や死亡で利用者数が大きく減って以降、利用者数が戻らず、経営が厳しい状態が続いている。
(2) 課題解決に向けた取組
現在の利用者の回数増や新規利用者獲得のためにケアマネージャーへの働きかけを行う。お便りや空き情報で施設のアピールを行う。利用日の変更、送迎時間、夕食の提供等、利用者の希望に沿ったサービスを行い、細やかな対応を行った。
(3) その他
①利用者からの主な意見や苦情、対応策
アンケートでは送迎時間と、リハビリ的なことを取り入れてほしいと要望があった。無記名のアンケートなので、お便り等で希望者への対応を行った。リハビリについては、看護師によるリハビリ体操やペダル漕ぎ、脳トレ等の充実を図った。
②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価
利用受け入れ地域の拡大や、利用者の細かい要望に沿ったサービスを行った。コロナ禍で行事や外出に制限がある中、利用者を楽しんでもらえるよう趣向を凝らしたレクリエーションを行った。昼食やおやつの中でも、行事やテーマに沿ったバラエティー豊かなメニューを提供できた。新規利用者もいる一方で利用中止やショートステイの利用者も増えたりと、なかなか利用者数が伸びない状況です。利用者の福祉の向上や家族の介護負担軽減を心がけ、利用者と家族に寄り添ったサービスを行い、利用者を増やして行きたい。
(2) 施設所管課の評価
利用者の減少が続き苦慮しているが、積極的な研修会への参加や職員間の情報連携・情報共有など丁寧に行われている様子が見えてくる。また、コロナ禍で受け入れができなくなっているボランティアとの交流会に参加するなど、ボランティアの意義や今後を見据えた活動を行っている。利用者の要望に応えるなど、きめ細かな対応を行っている。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)
自慢の昼食・おやつをPRを強化し、サービス利用者の獲得を図っていただきたい。 アンケート結果の検証を行い、対象地域拡大やリハビリの充実なども引き続きお願いしたい。